



▲尾張大國霊神社儼追殿外觀(写真撮影:新建築社写真部)



▲尾張大國霊神社儼追殿内観正面(写真撮影:新建築社写真部)



▲穴八幡宮随神門(写真撮影:新建築社写真部)

現代技術で よみがえる 伝統木造建築

2021年10月22日(金)

17時～19時(16時30分開場)

会場 日比谷図書文化館

地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)

定員 100名(事前申込順、定員に達し次第締切)

参加費 1000円

こちらの講座は「新型コロナウイルス感染拡大防止策」として中止した2020年2月28日(金)の講座です。今後の感染拡大状況により、変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

明治期以来、工学はもとより、技術教育の枠外に置かれ、特に戦後は建築基準法からも外された存在であった日本の伝統木造建築技術を科学的に解明し、現代技術として再構築し、新たな伝統建築を創造する手法を語る。即ち、歴史的建造物の中に優れた技法を発見し、科学的検討を加えることで現代の生産技術に適した工法を考案し、それを反映した設計法を確立することで伝統と現代を結びつけることが可能になるのである。

この講座では、穴八幡宮随神門や尾張大國霊神社儼追殿等の新築工事の事例を紹介しながら、伝統木造建築技術の現代技術としての再構築と、そして未来への継承を考える。

講師：木内修(木内修建築設計事務所代表)

1947年千葉県生まれ。1971年東京理科大学理工学部建築学科卒業。同年、清水建設建築設計本部入社。1978年から80年にかけて伊藤建築設計事務所にて伝統木造社寺建築設計技術を研修する。清水建設設計部、東京理科大学非常勤講師、清水建設上席設計長などを経て、2008年から東京大学大学院非常勤講師。主な受賞作品に「穴八幡宮随神門」(東京建築賞)、「伊勢神宮外宮神楽殿」(BCS賞)、「靖國神社参集殿」(東京建築賞)、「明治神宮外拝殿耐震補強工事」(BELCA賞)、「尾張大國霊神社儼追殿」(中部建築賞)がある。



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対策を実施していますのでご協力ください。

- ・ご入館時には手指の消毒、職員による検温、入館票のご記入(「貸出券番号」または「名前と電話番号」)をお願いします。
- ・館内では必ずマスクを着用ください。
- ・会場定員は207名ですが、ソーシャルディスタンス確保のため定員を少なく設定し、募集を行います。

お申込み

ホームページの申込みフォーム

電話(03-3502-3340)

いずれかにて

①講座名

②お名前(よみがな)

③電話番号を

ご連絡ください。

小学生以下のお子様に参加される場合、保護者の同伴が必要です(同伴者の方にも参加費が必要です)

千代田区日比谷公園1-4(日比谷公園内)

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>

都営地下鉄●三田線「内幸町駅」

A7出口/徒歩3分

東京メトロ●丸ノ内線●日比谷線「霞ヶ関駅」

B2出口/徒歩3分

東京メトロ●千代田線「霞ヶ関駅」

C4出口/徒歩3分

JR「新橋駅」

日比谷口(SL広場)/徒歩10分

